

2024年12月16日

各位

株式会社 三十三銀行

温室効果ガス排出量算定ツール「C-Turtle®FE」の導入について

株式会社三十三銀行（頭取：道廣 剛太郎）は、株式会社NTTデータ（代表取締役社長：佐々木裕、以下「NTTデータ」）が提供する、投融資先の温室効果ガス（以下「GHG」）排出量を算定する「C-Turtle®FE」を導入することとしましたのでお知らせいたします。

当行は、引き続きGHG排出量算定の高度化に努めるとともに、地域の脱炭素化に取り組んでまいります。

1. 背景

当行は、サステナビリティ方針において、「気候変動への対応・環境保全」をマテリアリティの1つとしており、環境保全活動及び環境に配慮した金融商品・サービスなどの提供を通じて、気候変動リスクの低減に向けた取組みを進めています。2024年度から2026年度の3年間で、「サステナブルファイナンス累計実行額1,500億円」の目標を掲げるとともに、Scope1,2における2050年度カーボンニュートラルを目指しています。

気候変動問題への対応において金融機関には、自社のGHG排出量の削減はもとより、投融資先のGHG排出量（以下「ファイナンスド・エミッション」）の算定・開示が求められており、今般、ファイナンスド・エMISSIONの算定・高度化を目的として、NTTデータが提供するC-Turtle®FEの導入を決定しました。

2. C-Turtle®FEについて

C-Turtle®FEは、サプライヤーの削減努力を自社のScope3排出量の削減効果として取り込むことのできる「総排出量配分方式」を採用するGHG可視化プラットフォーム「C-Turtle®」の新サービスとして、金融機関の国際的基準「PCAFスタンダード」に準拠したファイナンスド・エMISSIONの可視化と削減を支援するプラットフォームです。

<C-Turtle®FE 概要>

PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 PCAFに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point 2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業のGHG排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point 3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先のGHG排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

詳細は <https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2024/121600/> を参照してください。

以上

[お問い合わせ先]

担当	経営企画部	石原	059 - 354 - 7187
----	-------	----	------------------